



## 校長挨拶

久留米工業高等専門学校は戦前の昭和14年開設の旧制久留米高等専門学校に始まります。戦後の学制改革を受けて昭和24年に九州大学久留米工業専門学校に包括された後、昭和33年に久留米工業短期大学に改組され、昭和36年には全国初の5年制の高等工業教育のモデル校として久留米工業短期大学附属工業高等専門学校に改組されました。その後、間もなくの昭和39年に現在のスタイルとしての久留米高専が設立されることとなりますが、昭和、平成、令和の半世紀以上の歴史を有して今に至っています。

我が国の高等教育機関としての久留米高専で学んだ学生は、高い専門性を有する創造的技術者となって持続可能な社会の実現を目指しますが、幅広い教養も修得して人類の福祉や平和のために貢献するという意識も持ち合わせます。大学とは違って若い15才の時から入学し、大学受験に惑わされることなく、環境問題などの人類的課題の解決を意識しながら学習することはとても有意義なことです。本校はそのための教育理念として、自立の精神、創造性、広い視野、豊かな心をかかげ、それを実現するための教育目的・目標や3つのポリシー（入学者受け入れ方針：admission policy、教育課程編成・実施方針：curriculum policy、卒業認定・学位授与方針：diploma policy）を定めてホームページなどで公表しています。

5年一貫教育としての本科は機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、生物応用化学科、材料システム工学科の5学科で構成され、本科後の2年間の進学専攻科として、機械・電気システム工学専攻と物質工学専攻の2専攻を有しています。教員の多くは、九大や東工大などの全国の大学からの出身や企業経験者で構成され、その教育・研究実績を基に優れた学生教育にあたっています。



久留米工業高等専門学校  
校長 本庄 春雄

本校への志願状況は毎年良好で、福岡市、久留米市を中心とした県内各地からの入学者が8割台、佐賀県からが1割台となっています。本校での一日体験入学や福岡市と佐賀市で開催される学校説明会では多くの参加者で盛況となっています。学校生活では勉学に勤しむことはもちろんですが、ロボットコンテスト部やプログラミングラボ部などの文化部、硬式野球部やバレーボール部などの体育部があり、全国大会で受賞などの活躍をしています。高専の特徴の1つは寮があることですが、本校も男子寮の「筑水寮」と女子寮の「つつじ寮」が整備され、アジア圏からの留学生も含めて約200名弱の寮生が学生生活をエンジョイしています。本科、専攻科ともに、修了後の就職や進学状況は大変、良好で、修了生は大手企業や地元の企業への就職、全国の国公立大学などへの編入学・進学で活躍をしています。

久留米高専は、産業界や地域・社会との連携、大学などの学術・研究機関との協力でその使命を果たしております。例えば、久留米市との「事業協力に関する協定書」、一般社団法人日本歯車工業会、一般社団法人日本ゴム協会九州支部、久留米商工会議所との連携・協力協定の締結、久留米市内の4大学・短期大学と本校からなる「高等教育コンソーシアム久留米」、「テクノネット久留米」での産学民連携、九大大学院総合理工学府などとの連携・協力があげられます。

近年の急激な科学技術の進展は国の産業構造や我々の社会そのものを変貌させており、世界であろうと地域であろうと、グローバル化された社会で活躍する学生を育てる使命が本校にはあります。今後とも、久留米高専の教育・研究活動や学校運営に対して、引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 新入生の抱負

## 最強クラス宣言

機械工学科1年 久良木 愛

楽しみにしていた高専入学を目前に、まさかの緊急事態宣言。一度も登校できないまま約3ヶ月を過ごすことになりました。初めは慣れなかったオンライン授業ですが、先生方のおかげで、対面授業同等に快適に学習できています。違うのはただひとつ、隣にクラスメイトがいないこと。本来ならば、互いに切磋琢磨したり、時にはふざけ合ったりと、充実した学校生活を送っていたのだ。そう思うと、ぶつける当てもない悔しさが込み上げてきます。しかし同時に、仲間と過ごす日々は決して当たり前ではない、特別な時間なのだと気付くことができました。

そこで、私がクラスみんなで心がけていきたいと思ったことが2つあります。

1つ目は、仲間を大切にすること。5年もの間、共に学んでいくのです。全員が、「ここが居場所だ」と胸を張って言えるクラスでありたいです。私は、久留米高専の自由な校風に惹かれ、入学しました。他の高校に比べ、個性的な趣味や強い信念を持った人がたくさん集まっています。その中で大事になるのは、各々の個性を尊重し合うことです。認め合いの心を持って初めて、自分自身をさらけ出すことができる。居心地が良いと、心から思える場所になると思います。

2つ目は、夢を追い続けること。私が一番驚いたのは、明確な将来の夢を持っている同級生が多いということです。「夢への一番の近道は、口に出すことだ」という言葉があります。互いに目標を語り合い、応援し合えるような関係を築きたいです。また、私のようにまだ将来像が見えていない人でも、焦らず、自分が興味を持ったことにしっかり向き合える環境をつくりたいです。そして卒業のときには、それぞれが本当に進みたい道に向かって、自信を持って歩み出せるといいと思います。

平凡な日々の有り難さを知った私たちは、仲間と過ごす時間を無駄にしない。だからこそ、きっと最高のクラスにすることができる。マイナスの経験は、必ずプラスに変えることができます。そのために、私はまず、目の前のものに真剣に向き合っていくことを大切にします。勉強、部活動、行事や、それらにおける出会いや発見、全てに感謝を忘れず、全てに全力で取り組んでいきます。そして5年間の高専生活の中で、たくさんの思い出をつくり、あらゆる刺激を吸収し、クラスメイトと共に一步一步、成長していくことを誓います。

## 私が高専を選んだ理由

電気電子工学科1年 坂元 晶一

私は、世界を広く、深く知りたい。だから、この久留米高専電気電子工学科に入学した。というのも、私は生まれつき好奇心が強く、科学や技術に強い関心を持つ人間なのだが、その分発想でどうにもならない暗記科目などがメインになってくる受験勉強というやり方がそもそも嫌いだった。だから、専門的な勉強をする為に大学やその前座になる高校には行きたかったが、受験の為にわざわざそういった勉強をしたくなかった。そんな中で知ったのが高専の存在だった。高専であれば受験勉強をせずとも、受験の問題自体が発想でどうとでもなる良問で、特にこの久留米高専はレベルの高い学校であった。それだけでなく、この久留米高専の中に、広く知識を身につけながら専門的な分野を深く学んでいくという、自分の理想に合った学科があった。それが今通う久留米高専電気電子工学科だった。行くべき学校だと思った。それが入学したきっかけだ。

残念ながら、今はCOVID-19による影響で遠隔授業を使って講義を受けることしかできず、同じクラスの人達と顔を合わせることもすらできていない状況ではある。しかし、それでもSNSで連絡を取り合いながら課題を教えあい、残りの宿題の量に絶望する毎日を楽しんでいる。もし規制が終わり、学校対面授業ができるようになったら、私は気の合う仲間を集めて科学部を作りたいと思っている。そして、科学や技術について語り合い、討論をしたり、授業でやった公式の証明をしたりしてみたいと考えている。最近では分散登校の許可がされてきているので、近いうちに分散でなく完全な対面授業の開始、そしてクラスの仲間と直接会って苦楽を共にする毎日を送れるようになってほしいと願っている。日本における感染拡大は収まりつつある。高専で工学と科学と共に送る我々の青春は、もうすぐ近くまで迫っている。

## 新入生の抱負

**久留米高専入学と新型コロナウイルス  
制御情報工学科1年 寺崎 琳**

4月になったら当たり前前に入学式を行い、合宿研修などの様々な行事に参加する。そんな普通の学校生活を送れるものと思っていました。しかし、新型コロナウイルスが流行したことで行事が無くなり、学校にも行けないまま中途半端な状態で4月を迎えました。楽しみにしていた合宿研修やクラスマッチなどの行事、部活動への参加も出来なくなってしまい、とても残念です。

別の学校に入学した友人たちは入学式を経験し、既に部活動にも所属しています。話をするたびに羨ましさや焦りをおぼえましたが、高専からの課題に毎日取り組んで不安を誤魔化していました。ですが、課題だけではやる気も起きず、だんだんと生活リズムが乱れていきました。

5月に入り、オンラインでの授業の準備を進めていくことになりました。授業が始まったのはGW明け。高専の授業は中学校よりもはるかに長く難しかったです。分かっていた事でしたが、長時間パソコンの画面を見続けるのはとても疲れます。しかし、授業は録画されているので、何度も見直して理解できるというメリットも感じました。授業が始まってからは生活リズムも元に戻り、規則正しくスケジュール通りに物事を進めることが出来ました。一部対面授業が出来るようになって、5月25日に初めて登校しましたが、結局はほとんど遠隔授業でした。ただ、家とは違った環境でより集中して授業を受けることが出来ました。少しずつ高専生活が動き出したかなと思います。

さて、これから更に学習内容も難しくなっていくと思います。しかも、中間試験が無くなったのもあり、テストの範囲はとても広いです。いつ、どんな変更があってもいいように日ごろからしっかり学習をして、臨機応変に対応できるよう準備します。また、新しい生活様式の中で自立して行動し、常に責任をもって過ごしていきたいです。コロナの影響でたくさんの苦労がありました。学校に通える事の有難さを自覚し、毎日を充実させていこうと思います。

**兆し****生物応用化学科1年 森田 わこ**

2020年は、いわゆる「コロナ禍」に見舞われた年となりました。中国、アメリカ、イタリア等の先進国を始め世界中に拡大したこの禍は、久留米高専の新生である私達から門出を奪い、合宿を奪い、そして、クラスメイトと共に学ぶ事に制限を与えました。

しかし、教室で学ぶ事を奪われたからといって、学ぶ事自体を止めてはいけません。そこで、高専が学生のために採った「遠隔授業」という方法で私達は勉強しています。先生からは「表情が見えず困る」という声も聞かれます。私達としても高専の整った設備の中で学ぶ事が出来ず、「本来吸収できた情報・技術を取り溢しているかもしれない」と不安を感じる事もあります。

ですが、「遠隔授業であるからこそ」という事もあります。レコーディングされた授業を見返したり、放課後の時間をクラスメイトと協力し、考えを共有しながら課題のために充て、自分の学習の能率化を図る事が可能です。また、他学科所属のある方は、インターネットを利用する時間が増えた事と学科を超えての会話が少ない事に注目し、1年生のコミュニティの場をインターネット上に生み出してくれました。この事は、生まれた時間のゆとりを、自分が持つ技術を提供したり、磨いたりする為に使った素晴らしい例の1つだと私は思っています。

重ねて、新入生同士の会話が増えた事で、同学年の方の会話のレベルの高さに驚く毎日となりました。似たような興味を持つ人が集まる事で、新たに技術や知識が提供され、どんどん対象が広がり、探求欲が生まれます。

ある程度自分の希望の進路が決定している人であり、私とその進路が重なる部分もあるクラスメイトと、これから困難には協力して立ち向かい、時には競争する事もあると私は思っています。既にクラスメイトの知識量や幅の広さ、授業スピードの速さに高専の洗礼を受けた私ですが、社会に少しでも貢献できる人間を目指し、ここ久留米高専でたくさんの刺激を受けながら、大きく成長したいと思います。

## 新入生の抱負

## 私たちのスタートとこれから

材料システム工学科1年 内村 真豊

令和2年度入学式が予定されていた4月6日から、この文章を書いている6月中旬現在でもう2ヶ月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の影響により、その入学式や、合宿研修、クラスマッチ、文化部発表会など楽しみにしていた行事は軒並み中止となり、普通の日常をも送ることがかなわなくなりました。私自身外出自粛生活の中でふと、今ごろ入学式があるのだろうか、今ごろ登校している時間かなと、高専での生活を想像しながら残念に思う気持ちを募らせていました。

一方、高専生活に対する期待もますます大きくなっているところです。学習面はもちろんですが、友人関係に対する面で特にそう感じています。良くも悪くも顔も知らない人とネットを介してつながれるこのご時世、わたしたちも顔も合わせたことがないクラスメイトともつながり話をしています。自己紹介、相談事、勉強の話などをする中で、それぞれの個性を感じるたびに、早く会いたいという気持ちがますます高まっています。そして、一部学校に登校できることになり、私は幸運なことに学校で数人のクラスメイトと会うことができました。ほんの数人ですが、イメージ通りだった人もいれば、イメージと違った人もいて、やはり会ってみたいとわからない事って多いなと感じるとともに、ほかのみんなにも会ってみたいという気持ちがさらに大きくなりました。

先生から、「この学校では専門的なことを学ぶため、塾では学べないことがある。だから、互いに尋ね合い教え合える雰囲気、クラスをつくれると良い。」という話をしていただきました。まだ、顔を合わせたことのない人がほとんどですが、もうすでに遠慮なく聞き合い、教え合うことのできる仲間たちだと思っています。

いつ、全員と実際に会えるかはわかりません。ですが、学校が再開したら学校へ通えることへの有難さを感じながら学習や課外活動などに取り組み、充実した高専生活を送りたいと思います。

## 私の選択

機械・電気システム工学専攻1年 上田 咲

高専生活6年目に突入した。卒業まであと2年。ということは小学校より長く高専に滞在することになる。7年も通えば、専攻科生は高専のエキスパートとなる(おそらく)わけだが、本科に比べて行事もなければ部活もない。ただひたすらに勉学と研究にいそしむ期間というわけだ。なぜわざわざそんなところにいる人もいるかもしれないだろう。だが、たった2年である。長い人生の中で2年なんていうものは一瞬に過ぎない。しかし、二十代のこの時期の2年の過ごし方で今後の人生に大きな影響を及ぼしてくれるということは間違いないだろう。たしかに、大学へ行ってサークル活動や新しい人間関係に時間を費やすのも悪いとは言わない。しかし、わたしは思うのだ。この専攻科の2年間は将来の自分への投資だと。本科時代は自由な校風のもと、正直に言えば留年しない程度に学生生活を楽しんできた。たくさんの経験をし、いろんな人に出会い、部活やイベントなども全力で謳歌した。そんな中で勉強がおろそかになることも多々あった。しかし進路の選択を迫られたとき、わたしは不安を覚えた。このまま社会に出てしまってよいのかと。私にはできることがまだあるのではないかと。そんな私に打ってつけの機関が専攻科であった。部活もイベントもない環境に飛び込み、真剣に勉強・研究に向き合う覚悟を決めた。親の支えあって最適な環境での猶予が与えられているのだ。これを生かすか殺すかは自分次第である。ただ残念なことに、夢や目標があるわけではない。ひとつ挙げるとするならば海外進出だ。これは中学生のころから思い描いていることだが、今こそそれを現実に近づけるべきだと思っている。そして、いつか本当に進みたい道が見つかったときに諦めないで良いよう、自分の選択の幅を広げられるよう、精進していきたい。

## 新入生の抱負

## “新たな日常”を創る

物質工学専攻1年 鬼木 秋実

2020年3月に私は久留米高専本科を卒業し、4月には入学式がなく、形の上で専攻科に入学しました。当時、これはただ例年のように進級しただけで何ら変わらない“いつも通りの日々”が続くだけだと思っていました。

ご存知の通り、新型コロナウイルスは入学式・卒業式シーズンには爆発的な蔓延の様子を見せていました。講義は休講を余儀なくされ、自粛期間と呼ばれるコロナと共に生きる“新しい日常”が始まりました。開始当初、「有意義な期間にしよう」と心に誓っていましたが、今振り返れば、はたから見ても、有意義とは言い難い時間の過ごし方でありました。アルバイトがなくなることで、家では食っては寝てを繰り返し、ひとつ良い点を挙げるならば、洗濯以外の基本的な家事をマスターした、ぐらいです。本科の時はこうではなかったのに、と。

本科の時はどうだったか。私は中央執行委員長（学生会長）や高専祭実行委員長等を務め、新しい委員会の発足や校外活動など、時に体調を壊しながら必死に働いてきました。私がここまでしてきた原動力はなんだったのか。それは、学校を変えたいという好奇心もありましたが、大きかったのは委員長という看板や様々な期限からなるプレッシャーだったのかもしれない。自粛期間が終わる今、この“新しい日常”は適度なプレッシャーの重要性について教えてくれた気がします。

折角の2年間、心新たに自身が置かれている環境から変化させることで、様々な知識や経験を得ることが出来る有意義な専攻科生活にしていきたいと考えます。具体的なアクションプランとしては、依頼されたことには可能な限り、イエスと答えたり、楽な道と少し苦しい道で迷ったならば、後者を積極的に選んだりして、適度なプレッシャーを常にかけていこうと思います。この“新しい日常”の中で自分らしい“新たな日常”を創っていきたいです。

## 担任紹介



## コメント

機械工学科1年担任 一般科目（理科系）准教授 黒飛 敬

化学を担当しています。有機合成化学・物性化学を中心としたものづくりが専門分野となっています。今年のように世界的な危機に直面したとき、各国のものづくりに対する取り組みの差が出ているように思います。若く柔軟な思考力をもった高専生諸君は、この経験を活かしてエンジニアへの糧としてほしいです。



## 持続可能な教育目標

電気電子工学科1年担任 一般科目（文科系）准教授 横溝 彰彦

担当教科は英語で、クラブは英会話部と卓球部を担当しています。研究の専門は異文化コミュニケーションです。現在の研究テーマは、持続可能な開発目標（SDGs）の1つである「人や国の不平等をなくそう」です。世の中に存在する不平等に目を向けてもらえるような教育や研究を目指しています。



## 課外活動への勧め

制御情報工学科1年担任 一般科目（文科系）教授 龍頭 信二

1年制御情報工学科担任の龍頭です。新入生の皆さん、本校には体育系17クラブ、文科系15クラブが存在します。自身のスキルアップを目的に、興味あるクラブにぜひ積極的に入部してください。体験入部もできます。本校では縦横のつながりを広げ、これからの学生生活を有意義に過ごしてもらえると幸いです。よろしくお願いたします。



## 学びあう学び

生物応用化学科1年担任 一般科目（文科系）准教授 徳永 正尚

2019年度より赴任し、今年2年目になります。それまで主に県立高校に20数年勤めていました。実は佐賀県立中学校に3年間いたときの卒業生が、昨年度までこの生化学科にいました。卒業生がお世話になった学科で一種の縁を感じています。「学びあう学び」が、担任・学年主任時の私のスローガンです。今年度も「学びの三位一体」をめざしていきましょう。



## 1年生へ（異例の高専生活スタート）

材料システム工学科1年担任 一般科目（理科系）准教授 高橋 正郎

入学手続き日の説明、入学式、入学式の日々の学科紹介、新入生オリエンテーション、新入生合宿研修、クラスマッチ、前期中間試験と4月、5月、6月の行事はすべてなくなりました。遠隔授業もなし崩し的にはじまりました。異例の高専生活スタートですが、たくましくいきましょう。私も担任として頑張ります。

## 担任紹介



## 久留米高専のみなさんへ

機械工学科 2年担任 一般科目(文科系) 准教授 鴨川 都美

コロナ禍の影響で、私たちの生活様式が変化しつつあります。どのような地点に着地するかは現時点ではわかりません。不安を感じることもあるでしょうが、今できることに力を尽くしてください。一方で、この機会に何か新しいことを始めてみてはどうでしょうか。たくさん新しい扉を開きながら成長して行ってほしいと切に願っています。



## 社会を知ろう！

電気電子工学科 2年担任 一般科目(文科系) 准教授 藍澤 光晴

可能な限り幅広い知識を身につけていきましょう。



## 学ぶことで出会うもの

制御情報工学科 2年担任 一般科目(理科系) 准教授 谷 太郎

学校では毎日新しいことを学びます。それは、ゆるぎない真理を求めて、誤魔化すことなく徹底的に追及しつづけた人間の精神に触れることです。



## 100年先を変える皆さんに向けて

生物応用化学科 2年担任 一般科目(理科系) 教授 篠島 弘幸

技術によって人は厳しい困難を乗り越え、世界を変えることができるということを実感していますか？では、次の困難やその次の困難を乗り越えるために、“何をどう変えたい”と思いますか？この、“何をどう変えたい”という思いこそが、技術の出発点であり到達点でもあります。2020年の今、何をどう変えたいと思いますか？



## 一言

材料システム工学科 2年担任 一般科目(理科系) 准教授 山崎 有司

1年間宜しくお祈りします。何かご質問などありましたら、ご連絡ください。



## 新入生へ

機械工学科 3年担任 機械工学科 准教授 南山 靖博

ぜひ、部活に入って下さい。就活では、学力よりも面接が合否に大きく関わってきます。学生生活で「何に打ち込み、どのような学びを得たのか」を通して、人間性を判断することが多いです。学生生活で大きなウエイトを占める部活動のエピソードを効果的にアピールできれば、面接やエントリーシートで強力な武器になります。



## 3E学生へのエール

電気電子工学科 3年担任 電気電子工学科 教授 宮崎 浩一

3学年は高専では中間点、大事な学年です。高校生のように大学受験等にとらわれないこの時期の過ごし方によって、卒業後の進路も大きく左右されます。将来をしっかりと考え、勉強はもちろん、クラブ活動、学生会活動、資格取得、英会話など興味のあるものにトコトン、チャレンジして自己PRできることを見つけてください。



## 臨機応変に今を生きる

制御情報工学科 3年担任 制御情報工学科 准教授 堺 研一郎

今はこれしか言いようがありません！まさかここまで我々の生活に支障が出るとは思いませんでしたが、こうなったからには日本が世界から遅れているオンライン化を進めるチャンスとも考えることができます。早く元の生活に戻りたいですが、今はみんなで協力してOffice 365を活用しましょう！



## 1年ぶり4回目の出場

生物応用化学科 3年担任 生物応用化学科 助教 中島 めぐみ

着任して6年目ですが、3C担任ばかり4回目となります。特に3C学生さんにありがちな悩み(進級や進路)については理解しているつもり…ですので、困ったり悩んだりしたら些細なことでもよいので相談に来てください。勉強にも遊びにも思いっきり全力で取り組みましょう！この1年間での成長を楽しみにしています。



## 「個の力」を「クラスの力」に

材料システム工学科 3年担任 材料システム工学科 准教授 岩田 憲幸

3年間の学科就職担当を経て、6年ぶりに3Mのクラス担任を務めています。人にはそれぞれ違った個性と能力があり、皆さんの「個の力」をうまく組み合わせれば、新たな価値観や視野が広がり、様々な可能性が開かれるはずです。3M学生には、自他の大切さを認めて共に学び合い、高め合えるクラスになることを期待します。

## 担任紹介



## 自宅でできるモノづくりのすすめ

機械工学科 4年担任 機械工学科 助教 渡邊 悠太

「新しい生活様式」の実践が叫ばれる昨今、皆さんも家にこもることが増えていると思います。そんな巣ごもりの手慰みにお勧めなのがモノづくりです。模型・手芸・日曜大工など様々ですが、計画を立て実践し何かを完成させることは卒業研究などに取り組む際の助けになるはず。私は最近マスクを縫いました。皆さんもぜひ。



## よろしくをお願いします。

電気電子工学科 4年担任 電気電子工学科 助教 原田 裕二郎

新型コロナウイルスの影響により、一度もクラスの学生の顔を見ることができないまま遠隔授業が始まりました。工場見学旅行も中止になり、先行きが見えない中不安は募るばかりでしたが、先日一部学生の登校が許可され、明るく元気な学生の姿を見たら少しホッとしました。これからよろしくお願ひいたします。



## No Rain, No Rainbow

制御情報工学科 4年担任 制御情報工学科 准教授 松島 宏典

将来を見据えて、頑張っていきましょう！今年一年間、宜しくお願いいたします。



## 学生の矜持

生物応用化学科 4年担任 生物応用化学科 教授 辻 豊

高専で学ぶ皆さんは学生です。学生であるが故、自由が与えられ、自由でないと学べないことを学ぶことができます。自由が与えられるには、それにふさわしい人でなければなりません。学校に規則ができる背景には自由を与えられるにふさわしくない行動が原因のことがあります。皆さんが学生であることを忘れずに！



## “考えるときは本を読む。”

材料システム工学科 4年担任 材料システム工学科 助教 小袋 由貴

“種をまく。失敗の研究をしよう。花は根を見る。”最近読んだ松浦弥太郎著「しごとのきほん 暮らしのきほん100」の一節です。世の中の動きに惑わされず、日々成長するために助けてくれる言葉です。4Mの学生にとって、今年は進路選択を考える時間ですね。担任としてできるだけの手助けをしていきたいと考えています。



## 昼寝はしてもよい

機械工学科 5年担任 機械工学科 准教授 細野 高史

前期後半の時間割に疲れて休日には昼まで寝ている、という生活をしていませんか。生活リズムの乱れは体内の概日リズムを狂わせることがあります。その結果睡眠障害となり起床して学校に行くことが正常にできなくなると進級や卒業が非常に難しくなります。平日も休日も毎日同じ時間に起きて生活のリズムを作りましょう。



## 自分のペースで前へと頑張ろう！

電気電子工学科 5年担任 電気電子工学科 准教授 ウリン トヤ

進路決定や卒業において、とても大事な時期に、急に休学や遠隔授業の状態になってしまいました。大変なことや、不安なことも多々あると思います。自分を信じて、やるべきことをできるところから片付けて、前へと進みましょう！進みたい方向への進路が決まり、元気で卒業できることを心より願っております。



## 本科 5年担任に仰せつかりました

制御情報工学科 5年担任 制御情報工学科 助教 田中 諒

一昨年度には3S担任を、昨年度には4S担任を歴任し、今年度は5S担任となりました。今年度は5S、2AE以外は、通年または半期の授業でお目にかかるかと思います。5S学生諸君、是が非でも進路を確定させ、皆で卒業しましょう。卒業式時に集合写真が撮れることを楽しみにしています。1年間よろしくお願ひいたします。



## ポストコロナ時代への対応

生物応用化学科 5年担任 生物応用化学科 教授 石井 努

5年生は最終学年となり、進路決定の重要な日々が続いていますが、最後まで努力を惜しまず継続し、目標に向かって邁進して行きましょう。現在、コロナウイルスの影響で大変な時期が続いていますが、「ポスト・コロナ時代」での社会構造の大きな変化を見据えて、今後の変化に対応できる準備をしましょう。



## 多くの挑戦と失敗を

材料工学科 5年担任 材料システム工学科 助教 佐々木 大輔

コロナウイルスは日本と世界における生活の在り方を見直す機会を与えてくれました。皆さんが本校で身につけている工学は決して、日常生活と乖離したものではなく、生活の在り方を形づくるものです。これからの日本と世界の社会を形づくっていきけるよう、多くの挑戦と失敗を体験してほしいと思います。

## 新任教職員紹介



## 我部 篤

- 所属 生物応用化学科
- 職名 講師
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 東北大学 多元物質科学研究所

**抱負：**4月より生物応用化学科の講師として着任致しました我部篤（がべ あつし）と申します。前職は東北大学で勤務しており、その前はスペインのアリカンテ大学で研究をしておりました。アリカンテという場所は少し馴染みの薄い場所かもしれませんが、マドリッドから電車で約2時間という地中海に面している海が非常に綺麗な場所です。また私は、炭素材料が専門で燃料電池に使われる電極や、その他エネルギー関連材料について研究開発をしてきました。高専では化学工学関連の授業及び実験を担当します。私のこれまでの経験を活かし久留米高専での教育・研究発展に貢献出来ればと考えております。新たな環境で元気にやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

**趣味：**旅行、ドライブ、ランニング、スポーツ観戦、英語、スペイン語



## 常木 佳奈

- 所属 一般科目（文科系）
- 職名 助教
- 採用日 令和2年4月1日

**抱負：**担当する国語関連の授業では、理解力や発想・思考力、そして、コミュニケーション能力を身に着的けるための学習に加え、日本の伝統的な言語文化に触れる機会を設けていきたいと考えております。高専教員として学生のみなさんと共に学び、成長していきたいと思っておりますので、放課後はそんなチャンス求めて学内を歩き回っていることも多いです。見かけた際にはぜひ、声をかけてください。社会人1年目ということで不安な気持ちもありましたが、久留米高専のみなさまに温かく迎え入れていただき、前向きに新生活をスタートさせることができました。至らない点多々あるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

**趣味：**おいしいものを食べること／つくること、旅行



## 中村 駿介

- 所属 一般科目（理科系）
- 職名 助教
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 東京理科大学  
理学部第二部数学科助教

**抱負：**4月より一般科目（理科系）に着任した中村駿介と申します。1年生や2年生の数学と、4年生のリベラルアーツ特論（グラフ理論）を担当しています。高等専門学校の数学は、3年生までに大学レベルの数学までを学習することから、学生にとって早いペースで授業が進むと思います。授業の進度が早くても、できる限りわかりやすく丁寧な授業ができればと考えております。また、学生相談室の相談員なので、学生にとって相談しやすい教員になればいいなと思います。高等専門学校での教育は初めてなので、至らない点多々あると思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお申し上げます。

**趣味：**ドライブ、映画鑑賞



## 吉田 規雄

- 所属 事務部
- 職名 部長
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 佐賀大学学術研究協力部国際課長

**抱負：**この4月に佐賀大学から異動してまいりました。出身は大阪です。関西をスタートにして、東京→広島→東北→東京、そして佐賀大学へと異動を重ね、主に国立大学法人等で留学生系の業務に携わってまいりました。そしてこのたび、引き続き九州の地で務めさせていただくこととなりました。高専での勤務は今回が初めてとなります。

いま、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な課題に向けて本校教職員関係者が一丸となって取り組まれておられます。本校の学生が安心して学校生

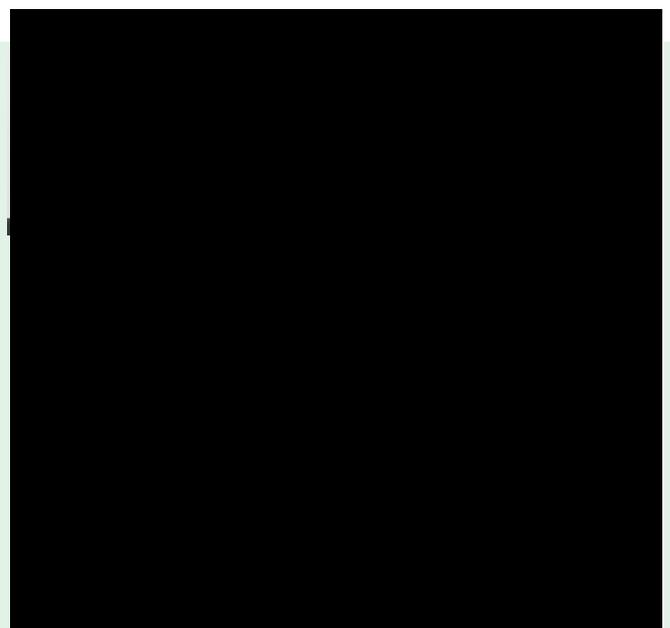


## 濱崎 加奈子

- 所属 総務課財務係
- 職名 一般職員
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 法律事務所事務

**抱負：**4月より総務係に採用されました濱崎と申します。前職とは違う職種で毎日が新鮮です。業務に不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思っておりますが、早く業務を覚え、一日も早く久留米高専に貢献できる一員となれるよう努力してまいります。これからよろしくお願いいたします。

**趣味：**読書、映画鑑賞



## 新任教職員紹介



## 永野 彩

- 所属 学生課学生生活支援係
- 職名 看護師
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 有明工業高等専門学校  
非常勤看護師

**抱負：**4月から保健室の看護師をしています。以前は有明高専の保健室で非常勤として勤務していました。保健室業務の中でも、未経験なことや学校による違い等もあり、日々勉強の毎日を過ごしています。まだ分からないこともあります。早く仕事に慣れ、保健室の看護師として名前を覚えてもらえるよう努力します。学生の皆さんが心身健康で楽しく学生生活を送るお手伝いが少しでもできるよう、前職での経験を活かし、さらに知識やスキルを高めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

**趣味：**ドライブや水族館巡り、道の駅巡りをするのが好きです(最近はどこにも行けてないですが)。新しい趣味も何か始めたいと思っています。



## 田中 準一

- 所属 教育研究支援センター
- 職名 技術職員
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 株式会社パーキングソリューションズ

**抱負：**昨今、産業のF A化が進んでいく中で技術者に求められる役割が複雑化し、より深い専門知識を求められるようになってきています。私は企業にて自動搬送のシステムを組む業務に携わっていました。主に電気回路の設計及びP L C制御・マイコン制御に従事していましたが、製品の機械的構造の理解や搬送に必要なモーターの容量計算等様々な知識を求められました。

これまでの経験を活かして企業に重宝され活躍できるよう、技術や安全作業に関する知識を伝えていけるよう努めます。また、実習についてはわかりやすい指導を心掛けます。足りない知識や技術も多々ありますので自己研鑽に努めます。

**趣味：**弓道、ベース、プラモデル



## 古賀 裕一

- 所属 教育研究支援センター
- 職名 技術職員
- 採用日 令和2年4月1日

**抱負：**この度教育研究支援センターに配属になりました。古賀と申します。私自身初心を忘れず日々成長したいと思っています。向上心は誰にも負けないように頑張ります。よろしくお願いたします。

**趣味：**食べ歩き



## 天野 環

- 所属 学生課学生生活支援係
- 職名 非常勤職員
- 採用日 令和2年4月1日
- 前職 久留米大学医学部皮膚科学教室

**抱負：**長年、九州大学大学院医学研究院病態制御内科学糖尿研究室、久留米大医学部皮膚科医局で医療系の仕事に携わっておりました。職種は違いますが人と接する仕事が好きなので学生課で働くことができとても嬉しいです。早く仕事を覚え、学生さん達が学校生活を快適に過ごせるようお手伝いができたらと思っております。どうぞ宜しくお願いたします。

**趣味：**アイススケート(フィギュアスケートも少し)、韓国語、海外旅行(最近は、韓国のみ)



## 寺崎 正文

- 所属 学生課教務係
- 職名 非常勤職員
- 採用日 令和2年4月1日

**抱負：**皆様のお役に立てますよう一生懸命頑張っております。どうぞよろしくお願致します。

**趣味：**ハイキング



## 山田 恵美

- 所属 学生課専攻科係
- 職名 非常勤職員
- 採用日 令和2年5月1日
- 前職 水資源機構 福岡導水総合事業所  
事務補助

**抱負：**久留米高専は初めての勤務になります。5月1日より学生課専攻科係に採用していただきました事務補佐員の山田と申します。以前から勤務を希望していたので、新鮮な気持ちで頑張りたいと思っております。前職と異なる職種のため、不慣れな点もあるかと思っておりますが、学校の雰囲気にも早く慣れるように、また久留米高専にお役に立てるように頑張りたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願致します。

**趣味：**旅行、スポーツ観戦、運動すること

## 学生表彰

## 第19回日本情報オリンピック本戦における九州・沖縄ブロック 奨励賞成績優秀者

プログラミングラボ部 稲田 雄大

この度、日本情報オリンピック（以下JOI）九州・沖縄ブロック奨励賞成績優秀者としてこの文章を書かせていただく運びとなりました。JOIはプログラミングとアルゴリズムの大会です。予選、本戦、春合宿と3つの大会があり、その大会の成績優秀者が次の大会に招待されます。拙いながら、以下に本大会についての所感を述べます。

はじめに、懺悔しなければなりません。私は本大会において手を抜きました。図々しく理由を述べますと、私は本戦の次の大会である春合宿に私の意思による事情で参加できないことが決まっておりました。そのため、全力を出して春合宿に参加することを目的とせずに、楽しむことを目的として参加しました。

本戦が終わり数時間もたたないうちにその事情がなくなったことを知りました。その話を聞いた時、本大会での私の行動については何も思うところはありませんでした。

もし「本当は春合宿に参加したいけれど、事情により参加できないことがわかっているため力を抜いて楽しむために参加した」が本当なら、その話を聞いた時にそのことを事前に知れていればと私なら思ったはずですが、しかしそうは思いませんでした。その理由を私は知っています。

私はその事情を理由にして勝つ必要が無い状況を作り出していました。勝つ必要が無いことをどこか安心していました。

この大会の開催にあたって多くの人間が多くの時間・力を注いでくれたのだと思います。参加者が自分の力を出して戦える場所を用意してくれていて、私は私の意思でそれに参加したのに、戦わずに逃げました。私以外の人間がどう思うかは分かりません。ただ、私は、大会に参加するのであれば競技者として戦える人間でありたいと思っています。本大会ではそれができませんでした。

JOIは今回が参加できる最後の年でしたが、これからも他の大会に参加するつもりです。その時はちゃんと競技者として参加しようと、そう思われた大会でした。

## ～本校全景～

弓道場、プール、テニスコートの再配置、学生駐車場の拡充及び一般文科理科棟の全面改修工事が令和元年度末をもって竣工しました。本事業により校内環境の充実と改善が図られました。

